

吉川地域における 施設一体型小中一貫校基本構想（概要）

三木市教育委員会

小中一貫教育とは

義務教育9年間を一体的に捉え、子どもたちの成長をサポートする教育です。



小・中教職員の連携強化 学びの連続性を意識した指導

小中ギャップの解消

多用な教職員集団による専門性の共有

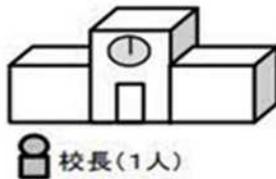
異年齢交流による「社会性」や「自己有用感」の育成

小中一貫校とは

義務教育学校

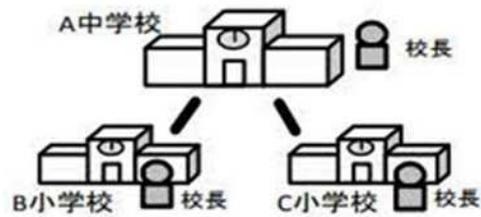
新たな学校種（一つの学校）
⇒一人の校長
⇒一つの教職員組織

修業年限：9年
（前期課程6年＋後期課程3年）



併設型小学校・中学校

組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態
⇒それぞれの学校に校長、教職員組織



※どちらも施設一体型

児童生徒数及び学級編成

名称	現在	義務教育学校
小学校	1～6年生	（前期課程）1～6年生
中学校	1～3年生	（後期課程）7～9年生

（令和12年度想定）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援 学級	合計
児童生徒数(人)	32	15	27	14	27	21	35	30	29		230
学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	※4	13

（住民基本台帳によるR7.3.11現在の子どもの人口）

管理職及び教職員組織

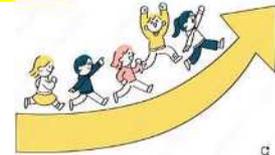
区分	教職員数 (単位：人)		
	前期	後期	合計
校長	1		1
教頭	1	1	2
教諭	9	8	17
養護教諭	1	1	2
栄養教諭		1	1
事務職員	1	1	2
計			25

目指す児童生徒像と付けさせたい力

目指す児童生徒像	付けさせたい力
夢や希望を実現するために努力し、自分らしく生きていくために 自ら考え、行動する 児童生徒	自己実現に必要な基礎・基本となる学力、自立し自ら学ぶ意欲など
多様な他者とつながり、 思いやりのある心 豊かな児童生徒	豊かな人間性、人と関わる力(コミュニケーション力)など
困難に適切に対応する しなやかで強い心と身体 を持った児童生徒	たくましく生きるための心身の健康や体力、自己肯定感など
ふるさとを愛し、 吉川に誇りを持った 児童生徒	ふるさととつながる力、地域に貢献したいという思いなど

大切にしたい教育内容

ア 自分らしく豊かに生きていくための学び



イ 交流学习



ウ 国際理解・英語教育

エ ふるさと教育



効果的な教育課程の編成

15歳の姿を見据え、9年間の学びを共に創る



特認校制度

市内の方向けの制度です

いろいろな体験ができるよ!



整備する学校の整備方針

整備コンセプト

- ① **学びが広がる** 学校
- ② ゆとりがあり、快適に過ごせる学校
- ③ **地域**に開かれ、**地域への愛着と誇り**を感じる学校
- ④ 誰もが楽しく学べる **安心・安全**な学校
- ⑤ 環境に配慮した学校

整備する学校の整備方針

施設概要

整備を予定する主な施設

区分	室名	備考
教室	普通教室	前期6、後期3
	特別支援学級教室	前期2、後期2
	特別教室	理科室、音楽室、調理室等
	通級指導教室	
	図書室	自習スペース併設
	多目的室、 <u>オープンスペース</u>	多様な教育活動に活用
管理系施設	校長室、職員室、保健室、事務室、 校務員室、職員更衣室、職員休憩室等	
運動施設	運動場、低学年用運動場、体育館、	

整備する学校の整備方針

施設概要

その他	<u>多目的交流スペース</u>	大規模集会、発表会、ランチスペース、地域交流、統合資料展示
	<u>メモリアル交流ホール</u>	
	<u>地域・保護者連携推進室</u>	
	サポートルーム	
	会議室	
	相談室	SC カウンセリング、教育相談
	進路指導室	
	児童生徒会室	
	倉庫、教材庫	
付帯施設	学童保育施設、給食調理場、 <u>駐車場</u> 、 <u>バスロータリー</u> 、 <u>バスドライバー待機所兼倉庫</u> 、防災施設等	

※ それぞれの用途に応じ、室数・面積を確保します。

※ すべての設備・機能を記載はしていません。

建設に関するスケジュール

	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)
基本構想	→							
基本計画 基本設計 実施設計			→	→				
校舎棟建設工事 グラウンド整備						→		
校舎供用開始								→

